

「確かな学力」の着実な定着を目指して

〜とわだつこ学力向上アクションプランの策定から一年〜

はじめに

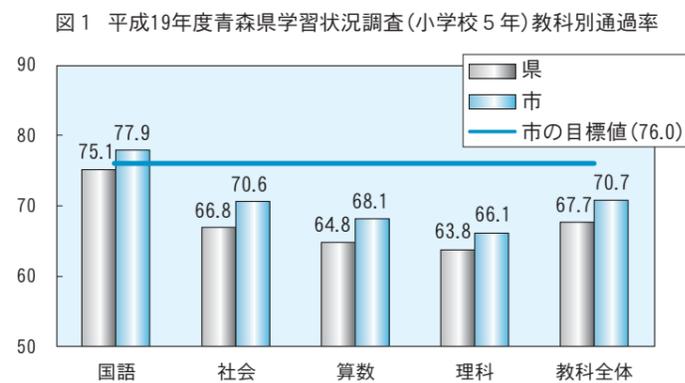
教育委員会では昨年度より、学力向上策を総合的かつ計画的に推進しています。次代を担う児童・生徒が変化の激しい社会を生き抜くために必要な「確かな学力」の着実な定着を目指した「とわだつこ学力向上アクションプラン」を立ち上げ、おおむね5年間をめどに、学校、家庭、地域社会と連携を取りながら推進を進めているところです。

プラン策定から一年が経過しましたが、学力の定着状況を昨年度実施された青森県学習状況調査と全国学力・学習状況調査の結果をもとに振り返り、今後の目標と取り組むべき方向性を見直しました。

学力の状況

①平成19年度青森県学習状況調査より
市の小学5年生は、図1で見ると、4教科すべてにおいて、県の平均通過率を上回っていますが、市の目標値(76%)に教科全体で約5ポイント足りません。

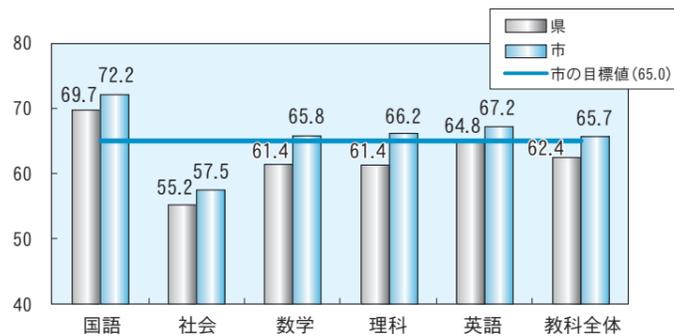
また、中学2年生は、図2で見ると



ように5教科すべてにおいて、県の平均通過率を上回り、市の目標値(65%)と教科全体で同程度となっています。

小・中学校の各教科は、いずれも県の平均通過率を上回っています。これは、基礎的・基本的な学力の

図2 平成19年度青森県学習状況調査(中学校2年)教科別通過率

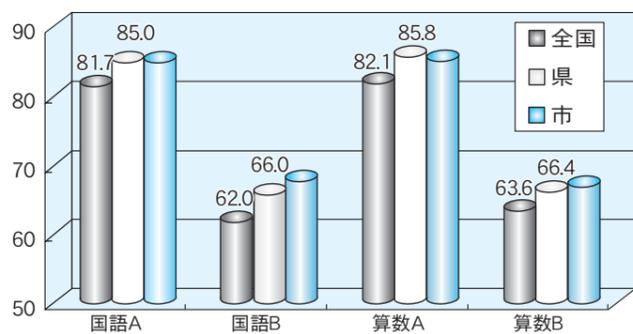


定着を図るために、各学校で工夫し、取り組みだ成果とされます。

しかし、市の目標値と比較すると、下回っている教科があり、今後も、児童生徒一人ひとりに応じた、きめ細かな指導が必要です。

②平成19年度全国学力・学習状況調査より

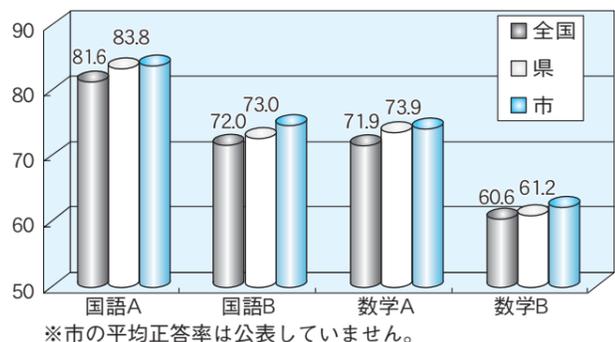
図3 平成19年度全国学力・学習状況調査(小学校6年)平均正答率



※市の平均正答率は公表していません。

ア教科に関する調査結果
市の小学6年生および中学3年生は図3・4で見ると、国語、算数・数学の各教科において、全国・県の平均正答率とほぼ同程度、もしくは若干高めとなっています。

図4 平成19年度全国学力・学習状況調査(中学校3年)平均正答率



※市の平均正答率は公表していません。

しかし、いずれの教科においてもA問題(主として「知識」に関する問題)に比べるとB問題(主として「活用」に関する問題)の平均正答率は低く、知識・技能を活用する力に課題が見られます。

イ質問紙調査結果

生活リズムや生活習慣については、「朝食をとること」「登校前の持ち物の確認をすること」「身の回りのことを自分ですること」「7時前に起きること」などは85%を超えています。

一方、「家での勉強時間を自分で決めること」「テレビやゲームで遊

ぶ際のルールづくり」などは55%未満と低くなっています。

学校生活については、「学校の規則を守ること」の数値は全国を大きく上回っており、学習意欲についてもおおむね高い結果が出ています。学校生活の楽しさや諸関心などは、全国とほぼ同程度です。

分かる授業について

よく分かると実感できる授業は、児童・生徒のやる気を喚起し、学習内容を定着させ、発展的な学習への取り組みや、家庭などにおける自主的な学習の基盤となるものです。

国立教育政策研究所の「学習意欲に関する研究(平成12〜13年)においても、児童・生徒が「やる気になる」のは、「授業がよく分かる」とき」との回答が上位となっており、学習離れが指摘されている今日、学校が学習内容の定着状況を確に把握しながら「分かる授業」を行うことが大切だと考えます。

ところが、「平成15年度学校意識調査」(文部科学省)によると、「学校の授業が分かる」と答えている児童・生徒の割合は、小学生で70%、中学生で52%となっています。青森県で実施している学習状況・質問紙調査(平成17年度)における本市の状況も、ほぼ同様の調査結果となっており、児童・生徒にとって「分か

る授業」を一層進める必要があります。

目標の追加

教育委員会では、こうしたことから、小・中学校については学力の定着に関する検証可能な目標に加えて、授業理解度の向上に関する目標(表1)を設定します。目標値は、現状値を踏まえ、今後4年間において5ポイントのアップを目指しています。

授業理解度の向上に関する目標

「授業が分かる」と答える児童・生徒の割合

- 小学5年生 80.0%
(市の現状75.2% [平成17年度県学習状況・質問紙調査より])
- 中学2年生 60.0%
(市の現状54.4% [平成17年度県学習状況・質問紙調査より])

(注)「授業が分かる」は、「学校の授業がよく分かる」または「だいたい分かる」と答えたものをいいます。

取り組みの追加・拡充

教育委員会では、目標の達成に向け、昨年度まとめた学力向上に関する施策を見直し、さらなる向上を目指して推進します。◎の部分が追加・拡充した内容です。

- ①学力の確かな把握
 - 青森県学習状況調査の実施
 - 全国学力・学習状況調査の実施
 - 学習状況調査報告書の配布
- ②支援体制の整備
 - ◎アシスタントティーチャー派遣事業
 - ◎特別支援教育支援員派遣事業
 - ◎学校図書館の充実
 - ◎小・中学校コンピュータ更新および校内LANの整備
- ③進路指導の充実・強化
 - 研修センターにおけるキャリア教育の研修実施
 - ◎キャリア教育実践(プロジェクト実践校への支援)
- ④学校間の連携の強化
 - 計画訪問時に学校間の連携指導
 - ◎幼小連携教育研究会の実施
- ⑤家庭・地域の教育向上支援
 - 地域における家庭教育支援基盤形成事業
 - 放課後子ども教室推進事業

問い合わせ先 指導課
(☎)235111内線6510